# 富士見町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略

平成 28 年 1 月 富士見町

# 目 次

| 第1編   | 富士見町人口ヒション                                   |    |
|-------|--|----|
| はじめに  |  | 2  |
| 第1章   | 人口ビジョンの概要                                    | 3  |
| 1 .   | 人口ビジョンの位置づけ                                  | 3  |
| 2 .   | 人口ビジョンの対象期間                                  | 3  |
| 第2章   | 富士見町の人口動向・産業の分析                              | 4  |
| 1 :   | 総人口及び年齢3区分人口の状況                              | 4  |
| 2 :   | 年齢階層別人口の推移                                   | 5  |
| 3     | 自然動態及び社会動態の状況                                | 6  |
| 4     | 婚姻・出生の状況                                     | 7  |
| 5 7   | 純移動数の状況                                      | 9  |
| 6 ;   | 就業の状況及び通勤・通学の状況                              | 11 |
| 7 j   | 産業・就業者の状況                                    | 12 |
| 第3章   | 町民の意識  | 14 |
| 1     | アンケート調査                                      | 14 |
| 2     | 町民ワークショップ                                    | 15 |
| 第4章   | 富士見町の将来展望人口                                  | 16 |
| 1 .   | 人口推計と人口シミュレーション                              | 16 |
| 2 :   | 将来展望人口                                       | 18 |
| 第2編 富 | 雪士見町総合戦略                                     | 19 |
| 第1章   | 総合戦略の概要                                      | 20 |
| 1 ;   | 基本的な考え方                                      | 20 |
|       | 戦略の期間  |    |
|       | 戦略の推進体制                                      |    |
|       | 戦略の体系  |    |
|       | 総合戦略   |    |
| 基本    | 目標 1 雇用                                      |    |
|       | 目標 2  交流 ................................... |    |
|       | 目標3 子育て                                      |    |
|       | 目標 4 福祉・まちづくり                                |    |
|       | 目標5 広域連携.................................... |    |
|       | <b>資料編</b>                                   |    |
|       | 数値目標・K P I 一覧                                |    |
|       | 富士見町まち・ひと・しごと創生本部                            |    |
| 第3章   | 用語解説   | 47 |

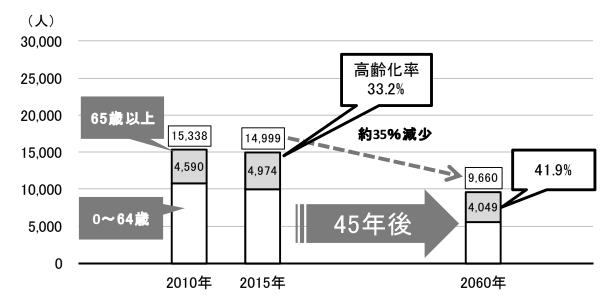
# 第 1 編 富士見町人口ビジョン

※本文中の\*印を付した用語は、巻末に用語解説を掲載しています。

# はじめに ~富士見町人口ビジョンの前提~

#### 富士見町における人口の現状と将来の予測値

国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研と表記)の人口推計方法に準拠した推計では、富士見町の総人口は2015年の14,999人から2060年には約35%減少し、9,660人になると予測されています。また、高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口の割合)は2015年の33.2%から、2060年に41.9%になると予測されています。



資料:

資料:2010年の数値は、国勢調査の実績値 2015、2060年は、社人研の推計に準拠し

# 少子高齢化・人口減少が進むと

消費の減速により地域経済が縮小し、社会保障費の世代間の公平性が保てなくなるばかりでなく、公共サービスの低下による福祉環境の悪化を招く恐れがあります。



#### 富士見町は2060年に現状人口を維持することに挑戦します!

〈自然減少抑制〉

- ・子育てしやすい環境整備による人口減少抑制
- ・男女の出会いの機会創出による出生数増加

#### 〈社会減少抑制〉

- ・まちの魅力発信による交流・定住人口増加
- ・雇用環境の充実による移動均衡

# 第1章 人口ビジョンの概要

# 1 人口ビジョンの位置づけ

富士見町では、少子高齢社会の到来や地方分権の進行など、本町をとりまく情勢が大きく変化することを見据え、平成27年度からの8か年計画で第5次総合計画を策定しました。このような状況において、本町の人口の現状を分析し、人口に関する町民の認識を共有したうえで、今後の目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を提示するものが人口ビジョンです。

国の「長期ビジョン」では、人口減少に歯止めをかける「積極戦略」と、人口減少に対応したまちづくりを行う「調整戦略」を同時に推進することや、基本的視点として移住や就労、結婚、子育て等の国民の希望を実現することが示されています。

「富士見町人口ビジョン」及び「富士見町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、今後の人口の変化が地域に与える影響を分析・考察するとともに、目指すべき将来の方向性を提示し、2022(平成34)年までの第5次総合計画と整合を図りつつ、今後5年間における施策の必要性の検討材料とします。

# 2 人口ビジョンの対象期間

人口ビジョンの対象期間は、国の長期ビジョンの期間である 2060 (平成 72) 年までとし、長期的な視点に基づいた展望を示します。また、国の方針転換や本町における宅地開発、交通網の変化など、社会経済動向の変化によって、人口動向に大きな影響を与える要因がある時には、適宜見直しを行います。

|                                 | 2014<br>(平成 26)年 | 2015<br>(平成 27)年 | 2016<br>(平成 28)年 | 2017<br>(平成 29)年  | 2018<br>(平成 30)年 | 2019<br>(平成 31)年 | 2020<br>(平成 32)年 | ••• | 2060<br>(平成 72)年 |
|---------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|-----|------------------|
| 富士見町ま<br>ち・ひと・し<br>ごと創生総<br>合戦略 |                  |                  | PDCA#            | イクル*に沿っ           | って随時改訂           |                  |                  |     |                  |
| 富士見町人口ビジョン                      |                  | 社会経済             | 動向等の変化           | に応じて見込            | 直し               |                  |                  |     |                  |
|                                 |                  |                  |                  |                   |                  |                  |                  |     |                  |
| 富士見町<br>総合計画                    |                  |                  | 平成               | 第5次総合<br>27 年度~34 |                  |                  |                  |     |                  |

# 第2章 富士見町の人口動向・産業の分析

## 1 総人口及び年齢3区分人口の状況

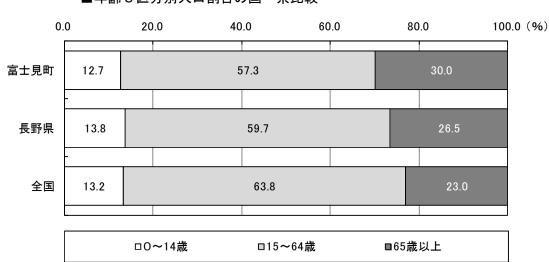
本町の総人口は2000 (平成12) 年を境に減少局面に入っており、今後も減少していくことが予測されます。0~14歳人口と15~64歳人口は2060 (平成72) 年まで一貫して減少傾向で推移し、65歳以上人口は2020 (平成32) 年まで増加することが見込まれ、その後、緩やかに横ばいで推移した後、2050 (平成62) 年を境に減少局面を迎えることが予測されます。

#### (人) 20,000 実績値 推計値 16,000 15,338 12,000 9,660 8,806 8,000 4,627 4,590\_ 総人口 4,000 ----0~14歳 15~64歳 4.049 ---- 65歳以上 ....<u>9</u>84 0 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030 2040 2050 (昭和25)年(昭和35)年(昭和45)年(昭和55)年(平成2)年(平成12)年(平成22)年(平成32)年(平成42)年(平成52)年(平成62)年(平成62)年(平成72)年

#### ■総人口及び年齢3区分別人口の推移と推計値

資料:国勢調査(実績)社人研準拠推計値(推計値)

2010(平成22)年の国勢調査における、本町の年齢3区分別人口は、全国や長野県と比較すると、0~14歳人口の割合が低く、65歳以上人口の割合が高くなっており、少子高齢化が窺えます。



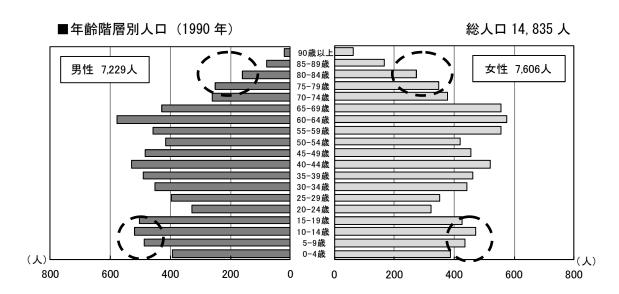
■年齢3区分別人口割合の国・県比較

資料:国勢調査(2010年)

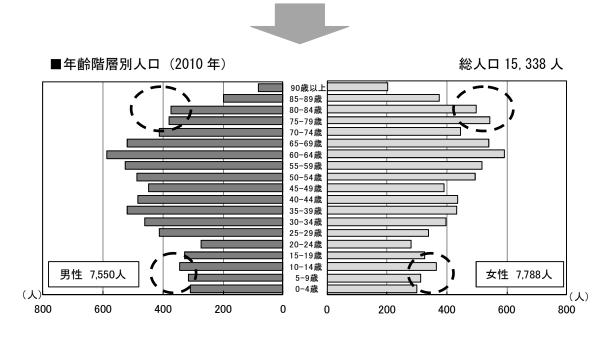
## 2 年齢階層別人口の推移

本町の 1990 (平成 2) 年と 2010 (平成 22) 年の国勢調査における人口構成を比較すると、20年間で総人口が 503 人増加しています。1990 (平成 2) 年の  $5\sim19$  歳人口と 2010 (平成 22) 年の  $5\sim19$  歳人口を比較すると、著しく減少していることから、出生数の減少及び子どもを連れた若い世代が町外に流出していることが分かります。

また、75歳以上人口は1990 (平成2) 年と比較して、2010 (平成22) 年では増加しています。 今後、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上を迎える2025 (平成37) 年以降、さらに高齢化率が 上昇していくことが予測されます。



資料:国勢調査



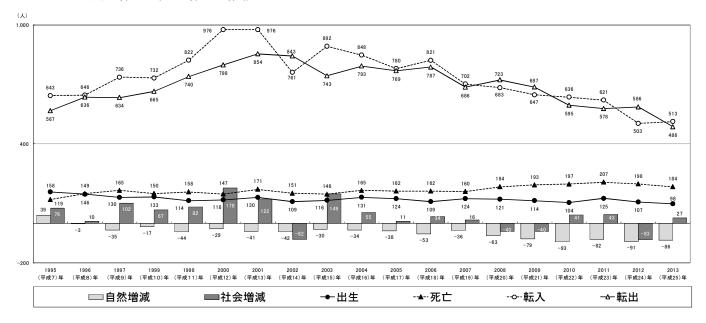
資料:国勢調査

# 3 自然動態及び社会動態の状況

本町の自然動態に影響する出生と死亡に関して、近年では1996(平成8)年を境に死亡が出生を上回る自然減の状態が続いており、2010(平成22)年は、死亡が出生を93人上回り、減少幅が最大値を示しています。

社会動態に影響する転入と転出に関して、2007(平成19)年までは、転入が転出を上回る転入 超過により、社会増の状態が続いていましたが、近年は転入、転出ともに減少傾向にあります。 また、2013(平成25)年は転入が転出を27人上回っており、全国的に人口減少社会を迎えるな かで、人口維持に向けて、効果的な施策の展開により現状人口維持も可能であることが窺えます。

#### ■自然増減・社会増減の推移



資料:長野県毎月人口移動調査、諏訪保健福祉事務所

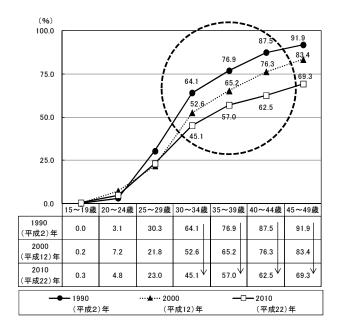
## 4 婚姻・出生の状況

#### (1)婚姻の状況

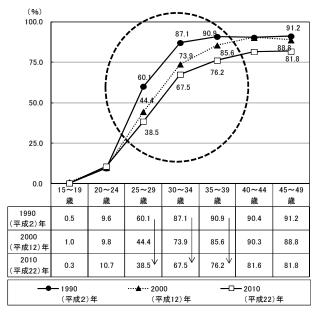
本町の各年代の婚姻の状況を示す有配偶率の推移をみると、男性で 30 代から 40 代、女性で 20 代後半から 30 代の割合が減少しています。1990 (平成 2) 年と 2010 (平成 22) 年を比較すると、男性の有配偶率の減少が顕著となっています。

また、長野県における平均初婚年齢は全国と比較して、男性、女性ともにやや高く、1975(昭和 50)年以降一貫して上昇傾向にあります。

#### ■男性の年齢階層別有配偶率の推移

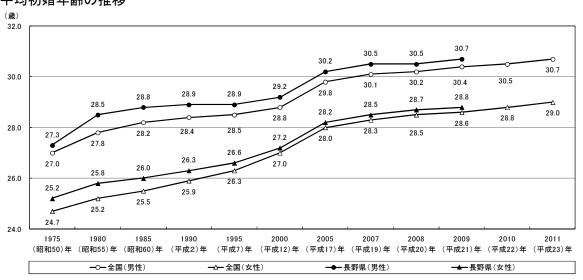


#### ■女性の年齢階層別有配偶率の推移



資料:国勢調査 資料:国勢調査

#### ■平均初婚年齢の推移

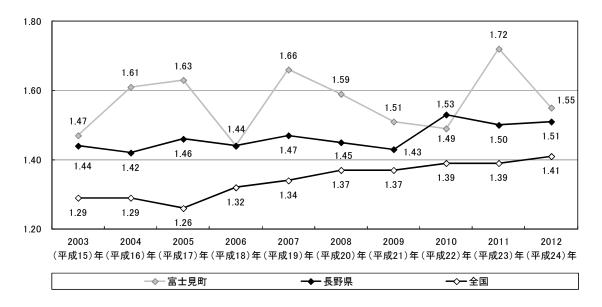


資料:厚生労働省「人口動態統計」

### (2) 出生の状況

本町の合計特殊出生率は各年においてばらつきはありますが、2006 (平成 18) 年と 2010 (平成 22) 年を除き、全国、長野県と比較して高い値で推移しています。

#### ■合計特殊出生率の推移



資料:厚生労働省「人口動態統計」及び富士見町

#### 5 純移動数の状況

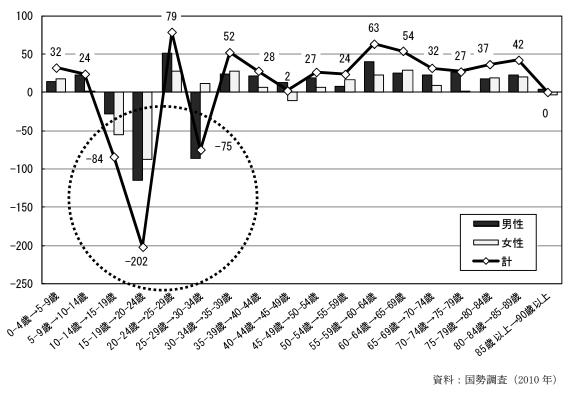
## (1) 年齢階級別純移動数(転入一転出)

本町の 2005 (平成 17) 年~2010 (平成 22) 年の年齢階級別純移動数をみると、男女ともに 15-19 歳→20-24歳の転出超過が顕著となっています。

また、男性において、25-29歳→30-34歳の転出超過が顕著にあらわれています。

#### ■年齢階級別純移動数(転入一転出)(2005~2010年)

#### 純移動数(人)

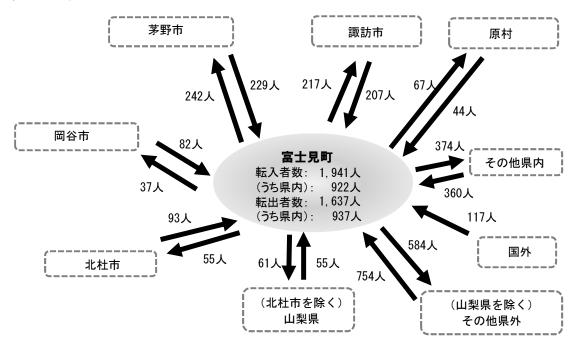


資料: 国勢調査 (2010年)

## (2) 自治体別転入·転出数

本町において 2005 (平成 17) 年から 2010 (平成 22) 年にかけて、岡谷市、北杜市、(山梨県を除く) その他県外からは転入超過、それ以外においては転出超過です。

#### ■転出入の状況



資料:国勢調査(2010年)

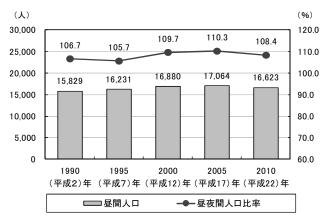
# 6 就業の状況及び通勤・通学の状況

#### (1) 町内での就業の状況

本町の昼夜間人口比率は、1990(平成2)年以来 105%を超えて推移しています。2005(平成17)年と2010(平成22)年を比較すると、自町内就業率が61.4%から67.2%に増加しており、長野県の水準に近づいています。

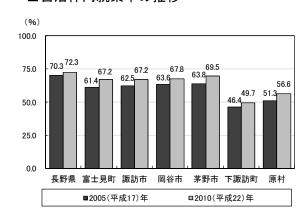
また、通勤・通学による町内流入・町外流出人口は、茅野市をはじめとした近隣自治体との関係が深くなっています。

#### ■昼夜間人口比率の推移



資料:国勢調査

#### ■自治体内就業率の推移



資料:国勢調査

#### ■富士見町から(へ)の通勤・通学先(人数の多い自治体上位5位)

| 富士見町から | の通勤・通学 | 富士見町への | D通勤・通学 |
|--------|--------|--------|--------|
| 市町村名   | 人数(人)  | 市町村名   | 人数(人)  |
| 茅野市    | 1, 634 | 茅野市    | 1, 116 |
| 諏訪市    | 957    | 諏訪市    | 733    |
| 原村     | 410    | 北杜市    | 407    |
| 岡谷市    | 321    | 原村     | 209    |
| 北杜市    | 220    | 岡谷市    | 177    |

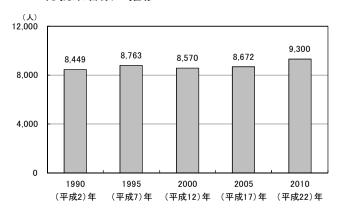
資料:国勢調査(2010年)

# 7 産業・就業者の状況

### (1) 就業者の状況

本町における、総就業者数は 2000 (平成 12) 年から 2010 (平成 22) 年にかけて、微増傾向にあります。産業別就業者割合の推移とあわせてみると、2000 (平成 12) 年から 2010 (平成 22) 年にかけて第 2 次産業の割合が増加していることから、産業構造の転換が総就業者数の増加に寄与していることが窺えます。

#### ■総就業者数の推移

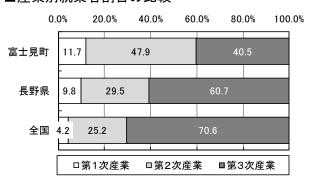


資料:国勢調査

#### ■産業別就業者割合の推移(富士見町)

#### 0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 2010(平成22)年 11.7 47.9 2005(平成17)年 16.7 36.4 2000(平成12)年 16.7 39.2 □第1次産業 □第2次産業 ■第3次産業

#### ■産業別就業者割合の比較



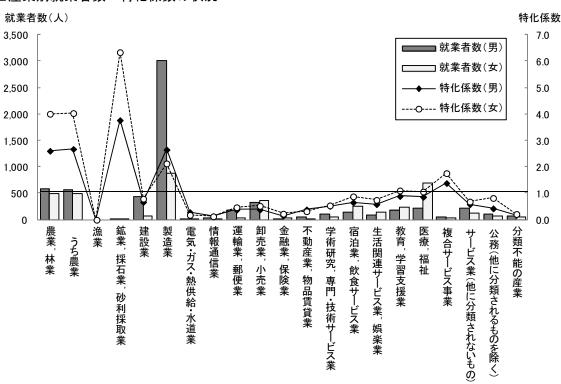
資料: 国勢調査 資料: 国勢調査 (2010年)

#### (2) 就業者数・産業特化係数の状況

本町の産業別就業者数は、男女ともに製造業が多くなっています。次いで男性は農業と林業の 就業者数が多く、女性は医療と福祉の就業者数が多くなっています。

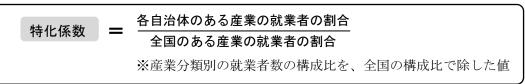
特化係数が 1.0 をこえる産業が、その地域の基幹産業とされています。本町においては、製造業が基幹産業に該当します。

#### ■産業別就業者数・特化係数の状況



※「鉱業、採石業、砂利採取業」「複合サービス事業」は、 資料:国勢調査 (2010 年) 従業者数が少ないなかでの比較であるため、基幹産業から除きます。

#### ■特化係数



# 第3章 町民の意識

## 1 アンケート調査

#### (1)調査の実施概要

人口ビジョン及び総合戦略策定にあたり、住民の現状や意識、今後の意向等を把握するためアンケート調査を実施しました。

| 調査種類                   | 対象者                                       | 調査期間                                 | 調査方法        | 配布・回収数                            |
|------------------------|---|--------------------------------------|-------------|-----------------------------------|
| 出産・結婚・子育て<br>等に関する意識調査 | 町内在住の18歳以上50歳<br>未満の住民から無作為に<br>2,000人を抽出 | 2015<br>(平成 27) 年<br>8月31日~<br>9月24日 | 郵送による 配布・回収 | 配布:2,000<br>回収:557<br>(回収率:27.9%) |

#### (2)調査の結果(概要)

- ●「あなたは富士見町に愛着を感じていますか」の問いに「愛着を感じる」と回答した割合は 80.7%でした。愛着を感じる理由として、「自然に恵まれているため」「生まれ育ったふるさとであるため」「治安がよく、安心して住めるため」の順に回答が多くなっています。
- ●富士見町への定住や移住を促進するための取り組みで効果があると思うものは「子育て支援」が過半数と群を抜いて高くなっています。次いで「医療の充実」「就業支援」の順となっています。
- ●独身と回答した人のうち、72.8%が結婚を希望しています。
- 「結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか」 の問いに対して「安定した雇用機会の提供」が最も高く、次いで「女性が働きやすい環境づくり」「結婚した方が有利となるような税制」の順となっています。
- ●既婚者に対する「希望する子どもの数は何人ですか」の問いに「2人以上」と 80%を超える人が答えています。
- ●希望する子どもの人数の平均は 2.28 人となっていますが、一方で「子どもがいる」と答えた人の実際の子どもの数は 1.71 人と希望を下回っています。
- ●希望する子どもの人数より、実際の子どもの人数が少ない要因について、「子育てや教育にお金がかかるから」が最も高く、次いで「将来の雇用に不安があるから」「家事や育児の協力者がいないから」の順となっています。
- ●「出産しやすい環境づくりに向けて、どのような支援が効果的だと思いますか」の問いに対して、「産休・育休制度の充実」が最も高くなっています。
- ●「子育てしやすい環境づくりに向けて、どのような支援が効果的だと思いますか」の問いに対して、「子育でに関する相談・支援体制の充実」が最も高くなっています。

## 2 町民ワークショップ

#### (1) 実施概要

| 参加者            | 開催日            | 開催方法                                    |
|----------------|----------------|---|
| 町民、高校生、大学生、町職員 | 2015年<br>9月19日 | 『あなたが思う魅力的な富士見町とは』をテーマに、自由な発想で意見交換しました。 |

#### (2)ワークショップでの意見(概要)

#### 「雇用」 ~新たなしごと・雇用の創出による産業振興~

- ●加工工場等、女性やお母さんの働く場所があるといい●短時間の仕事で良ければ農業が良いと思う
- ●ルバーブをもっとアピールしてほしい(働く場所)
  ●近くに働ける場所(企業)がもっとあればいい
- ●就職先など(求人案内)を広く公開すると良いと思う。

#### 「交流」 ~ まちの魅力で新たな人の流れの創出~

- ●趣味、サークルでつながりあると良いと思う
- ●地区の人以外とのつながりが必要
- ●まちの良さを(外からの視点で)知って自信を持ってPRしてほしい
- ●移住したい人の不安をなくす努力(地域との関わり)が必要
- ●住宅(売地、売家)情報公開窓口が必要
- ●最初に移住者に情報を伝えてあげる。ちょっとしたすれ違いをなくす努力が必要
- ●外国人観光に力を入れてほしい
- ●東京方面以外へのアピールが必要だと思う
- ●「目指す町の姿」をはっきりさせるべき。賛同する人が集まると思う
- ●移住者が自分から区にとけ込むように努力したほうがいいと思う
- ●企業誘致と農業のバランスを考えた活性化が必要

#### 「子育て」 ~子育て・教育支援の充実~

- ●産科医院の連携が必要だと思う
- ●いろいろな世代が集える、そこに行けば安心できる(常に人がいる)場所があるといい
- ●児童館があったら良い。集落センターなどの利用はできないか
- ●学童保育を小学校6年生までやってほしい
- ●ファミリーサポートセンターなど、もっと子育て世代に力を入れてほしい

#### 「福祉・まちづくり」 ~福祉の充実及びまちづくり~

- ●世代を超えた人との交流が必要
- ●お祭りを盛り上げるために活動する必要があると思う
- ●富士見町は住んで落ち着く場所です。心をいやす公園のような場所を充実してほしい
- ●お年寄りの交通の便は悪いと思う

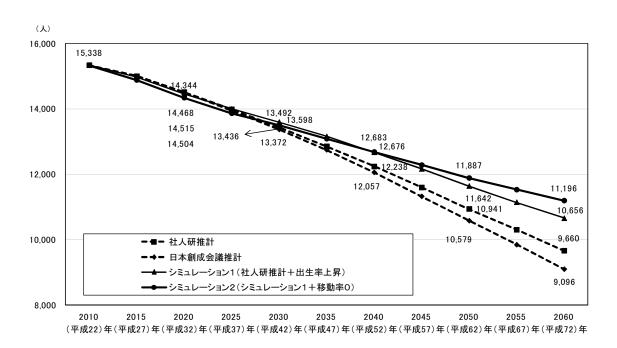
# 第4章 富士見町の将来展望人口

## 1 人口推計と人口シミュレーション

社人研の「日本の地域別将来人口推計(平成25年3月推計)」準拠、日本創成会議の「地域別将来人口推計」準拠によると、どちらの推計においても、本町の総人口は2010(平成22)年以降も減少し続ける見込みとなっています。特に社会増減の影響が縮小しないと仮定した、日本創成会議の推計では、人口減少がより進む推計となっています。

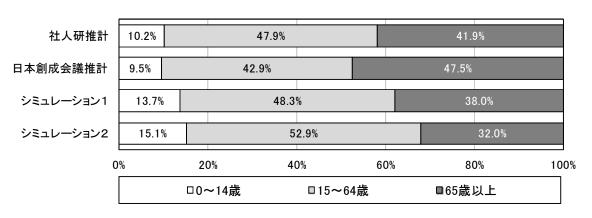
また、将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度を分析するため、将来人口推計におけるパターン1をベースに以下の2つのシミュレーションを行いました。2060(平成72)年の人口はシミュレーション1で10,656人、シミュレーション2で11,196人となることが見込まれ、社人研推計準拠と比較するとシミュレーション1で996人、シミュレーション2で1,536人プラスとなります。

#### ■推計パターン別にみた総人口の推移



資料:国提供ワークシート

#### ■推計パターン別にみた年齢3区分別割合(2060年)



資料:国提供ワークシート

#### 参考:各種推計の手法

#### 社人研推計

2005 (平成 17) 年から 2010 (平成 22) 年までの実績に基づいて算出された純移動率が、2020 (平成 32) 年にかけて概ね 1/2 に縮小すると仮定して推計した人口

#### 日本創生会議推計

社人研の将来人口推計データを基に、現在の地方から大都市圏への人口流出が 2040 (平成 52) 年まで収束しない前提で推計した人口

#### シミュレーョン1

合計特殊出生率が 2030 (平成 42) 年までに人口置換水準の 2.1 まで上昇した場合の人口(社会増減は社人研推計と同様)

#### シミュレーョン2

合計特殊出生率が 2030 (平成 42) 年までに人口置換水準の 2.1 まで上昇し、なおかつ社会増減が ±0となった場合の人口

#### 将来展望人口 2

#### 【現状・課題のまとめ】

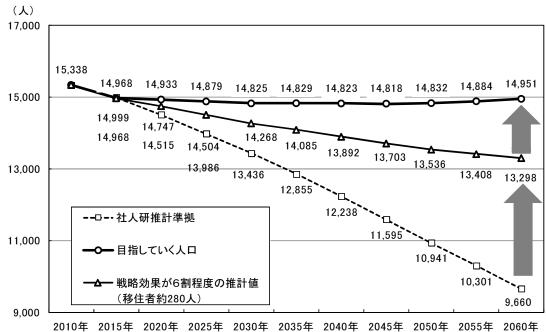
- ●本町では、現在まだ深刻な状態ではありませんが、人口減少・少子高齢化の傾向が表れはじめてい ます。その要因として、いわゆる「団塊の世代」の高齢化、若年者の町外への流出、合計特殊出生 率が上がっていないことなどが考えられます。
- ●若い世代においては進学・就職・結婚を機に町外に転出する人が多く、町民アンケート結果からも、 職業の選択肢の多様化が求められていることがわかります。また、本町の主力産業は製造業が中心と なっていますが、ワークショップの結果からは若い世代の就労先として、農業などの第1次産業や観 光業などの第3次産業の創出についても検討していくことが求められています。
- ●町民アンケートなどの結果においても、定住のために「子育て支援」が求められていること、希望 の子ども数と実際の子ども数に乖離がみられることなどから、合計特殊出生率の上昇、出生数の増 加に向けた取り組みが必要となっています。
- ●近年、本町においては男性における未婚率の上昇、晩婚化の傾向、女性における晩婚化の傾向がみ られますが、町民アンケートの結果からは未婚者の約7割が将来的に結婚を希望していることから、 その支援策も検討していく必要があります。
- ●人口シミュレーション1によると、出生率を上げた場合、人口減少の抑制、高齢化率の減少などの 改善傾向がみられることから、合計特殊出生率の上昇、出生数の増加に取り組みが効果的です。
- ●人口シミュレーション2によると、さらに人口移動を均衡させた場合、さらなる人口減少の抑制が みられることから、転出者の抑制、転入者の増加に向けた取り組みが効果的です。

#### 【将来展望人口】



以上のことから、本町においては結婚支援、出産・子育て支援、若い世代の新たな就 労先の創出、就労支援や富士見町の積極的なPR等の総合的な施策展開により、2025 年までに、合計特殊出生率を 1.84 まで上昇させ、2035 年までに人口置換水準の 2.1 を 目指します。また、10 代から 30 代の若年者の転出を抑制することや転入の増加策で

2060年時点における本町の総人口、15,000人を目指します。



資料:国提供ワークシート

# 第 2 編 富士見町総合戦略

※本文中の\*印を付した用語は、巻末に用語解説を掲載しています。

# 第1章 総合戦略の概要

## 1 基本的な考え方

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中の是正、地域での住みよい環境の確保等を通じて、活力ある日本社会を維持していき、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、平成 26 年 11 月 28 日に「まち・ひと・しごと創生法」が施行されました。

市町村には、基礎的な地方公共団体として、地域の特色や地域資源を生かし、住民に身近な施策を地方版総合戦略に幅広く盛り込み、実施することが期待されています。

本町においても、「富士見町人口ビジョン」で示している人口を取り巻く現状や課題、今後の方向性を踏まえ、総合戦略を策定する必要があります。

富士見町が成長する活力を取り戻し、町民が安心して働き、子育てができる環境を維持するためには、人口の維持が重要であり、富士見町の特性に即した課題解決のための積極的な政策が求められます。

よって本町が2060年(平成72)年に適正な規模の人口を維持しつつ発展していくための諸施策を示した今後5年間の事業戦略として「富士見町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

## 2 戦略の期間

「富士見町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の期間は、2015(平成 27)年度から 2019(平成 31)年度までの5年間とします。

# 3 戦略の推進体制

#### (1) PDCAサイクルの構築

本戦略を実現するためには、PDCAサイクルを確立し、本戦略で示した施策を着実に実施していくことが必要です。

加えて、重要業績評価指標(KPI\*)等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のプロセスを実行していくことになります。

#### ■PDCAサイクルによる評価・検証



#### (2) 住民参画による施策の推進

- ①幅広い住民参画のもと、様々な意見を取り入れながら、目標達成に向けて施策を推進します。
- ②戦略の進捗管理は、産官学金労言各分野からの有識者の参画により実施します。さらに、町民、関係団体、町内企業、行政など、富士見町を構成するすべての主体の協働のもと、戦略を推進します。

# 4 戦略の体系

| 基本目標                               | 施策  | 取り組み   |
|------------------------------------|---|--|
| 基本目標 1 雇用                          | 1. 新規企業等の<br>強化・誘致                              | <ul><li>(1)テレワークによる定住促進・就労確保</li><li>(2)新規就農者・農業後継者・新規参入法人への支援</li><li>(3)創業支援による企業誘致と工場用地の情報提供</li></ul>                    |
| 〜新たなしごと・<br>雇用の創出による<br>産業振興〜      | 2. 既存産業の支援                                      | (1) 基幹的産業としての農業振興(2) 中小企業の育成による地域産業基盤強化  |
|                                    | <ol> <li>農業振興による就<br/>労の拡大・雇用促<br/>進</li> </ol> | (1) 新たな農産物の産地づくり   |
|                                    | 4. 特産品開発の推進                                     | (1)特産品の開発販路拡大  |
| 基本目標 2 交流                          | 1. 観光資源の活用・<br>発信                               | (1) 地域資源を活用した商品造成等の観光<br>戦略構築  |
| ※本日標2 文派<br>~まちの魅力で                | 2. まちのPR<br>(知名度アップ)                            | (1) 天空リゾート・山岳高原観光を活かし<br>た観光情報発信   |
| 新たな人の<br>流れの創出~                    | 3. 移住・定住促進                                      | <ul><li>(1)移住・定住プロモーションの実施</li><li>(2)デマンド型乗合タクシーの運行</li><li>(3)生涯活躍のまち(日本版CCRC)の研究</li></ul>                                |
| 基本目標3 子育て                          | 1. 結婚を望む人への<br>支援                               | (1) 結婚支援事業の推進  |
| ~子育て・<br>教育支援の充実~                  | 2. 保育・子育て及び<br>教育支援の充実                          | <ul><li>(1)子育て施策の推進</li><li>(2)教育支援の充実</li></ul>   |
| 基本目標4<br>福祉・まちづくり                  | 1.健康長寿・福祉の<br>推進                                | <ul><li>(1)健康長寿の推進</li><li>(2)地域福祉の充実</li><li>(3)高齢者がいきいきと暮らすための活動支援</li><li>(4)新たな介護予防事業への取り組み</li></ul>                    |
| ~福祉の充実及び<br>まちづくり~                 | 2. 生涯学習環境の<br>推進・充実                             | (1) 生涯学習の機会の充実<br>(2) 生涯スポーツの普及・促進   |
| 基本目標 5 広域連携<br>〜広域連携による<br>地域力の創出〜 | 1. 広域連携による事業の推進                                 | (1) 広域・産学官の連携支援による圏域産業強化<br>(2) 広域連携による観光産業の環境整備<br>(3) 南アルプスの自然環境の保全と活用の推進<br>(4) 広域連携による移住・定住の促進<br>(5) 八ヶ岳定住自立圏による関係自治体との |
|                                    |   | 連携推進   |

# 第2章 総合戦略

# 基本目標 1

# ~新たなしごと・雇用の創出による産業振興~

#### <基本的方向>

富士見町における地方創生を実現していくためには、魅力ある仕事や地場産業の振興が重要となります。

本町では、全国に先駆けて推進してきたテレワークタウンや新規就農者等支援制度の取り組みを継続的に実施するとともに、高年齢者や若者・女性等の就労希望を実現し、多様な雇用の創出を目指します。

#### ■数値目標

| No. | 内容      | 現状値  | 目標値   |
|-----|---------|------|-------|
| 1   | 定住人口の増加 | 50 人 | 500 人 |

#### <具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)>

#### 1. 新規企業等の強化・誘致

#### (1) テレワーク\*による定住促進・就労確保

テレワークを利用した事業者を誘致し、定住促進を図ります。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容             | 現状値  | KPI   |
|-----|----------------|------|-------|
| 1   | テレワークによる新規移住者数 | 10 人 | 150 人 |

- ・ホームオフィス\*事業
- ・シェアオフィス\*事業
- 広報宣伝事業
- ・地域・異業種交流事業

#### (2) 新規就農者・農業後継者・新規参入法人への支援

新規就農パッケージ制度\*により、新規就農者や新規参入法人を確保して担い手不足を解消し、 農地の有効活用と新たな雇用を創出します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容         | 現状値  | KPI  |
|-----|------------|------|------|
| 1   | 新規農業従事者数   | 34 人 | 59 人 |
|     | 農業法人誘致数及び  | 5社   | 10 社 |
| 2   | 誘致法人の雇用創出数 | 20 人 | 45 人 |
| 3   | 新卒就農者数     | 0人   | 5人   |

#### 具体的な事業

- 新規就農者支援事業
- 農業法人誘致事業

#### (3) 創業支援による企業誘致と工場用地の情報提供

本町では分譲用地を保有していないため、優良工場用地となりうる土地の調査等を行い、インフラ情報を含めた準工業地域としての利用調整や周辺生活環境情報などの誘致案内情報を整備します。

#### ■重要業績評価指標 (KPI)

| No. | 内容             | 現状値 | KPI |
|-----|----------------|-----|-----|
| 1   | 企業立地・規模拡大・創業社数 | 2件  | 4件  |

- 商工業振興補助金制度事業
- ·企業立地·規模拡大·創業支援助成事業
- ・創業 (起業・開業) 支援事業

#### 2. 既存産業の支援

#### (1) 基幹的産業としての農業振興

JAを中心に販売を強化し、既存の市場評価を維持するとともに農家所得の向上を図ります。 農家の労働力不足を解消して経営の安定化を図るため、多様な雇用を創出します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容             | 現状値  | KPI  |
|-----|----------------|------|------|
| 1   | 専業農家所得向上率※     | 100% | 105% |
| 2   | 定年帰農者(高年齢者)数   | 0人   | 25 人 |
| 3   | パート就農者(子育て者等)数 | 0人   | 25 人 |

<sup>※</sup>専業農家所得は重要5品目(キク、レタス、ブロッコリー、トマト、イチゴ)の青年就農給付金の実績報告により評価

#### 具体的な事業

- · 地域農業再生事業
- · 農業経営基盤強化促進対策事業

#### (2) 中小企業の育成による地域産業基盤強化

中小企業の健全経営の推進と高度な技術を活かすとともに、新しい産業誘致や企業間連携を図るための情報提供を行い、地域経済の発展を促進します。

また、制度資金等の活用により商工業の活性化を促すとともに、専門アドバイザーの活用による企業育成を図ります。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容         | 現状値   | KPI   |
|-----|------------|-------|-------|
| 1   | 産業展示会出展企業数 | 26 社  | 30 社  |
| 2   | 中小企業融資斡旋数  | 412 件 | 430 件 |

- · 受注開拓、域外取引支援事業
- 新産業育成事業
- 中小企業制度融資斡旋事業
- · 商工業振興事業補助制度
- 空店舗等活用事業
- ・商店街活性化にぎわい創出事業

#### 3. 農業振興による就労の拡大・雇用促進

#### (1) 新たな農産物の産地づくり

レタス 100ha 構想、カシス特産化構想、ワインバレー構想、企業連携農園構想等を通じて、 農地をフル活用して地域農業の活性化を図るとともに、経済効果と雇用効果を生む新たな農業モ デルをつくります。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                  | 現状値      | KPI       |
|-----|---------------------|----------|-----------|
| 4   | レタス 100ha 構想による経済効果 | 生産額1.5億円 | 生産額6億円    |
| 1   | 及び雇用創出数             | 雇用 15 人  | 雇用 60 人   |
|     | カシス特産化構想による経済効果     | 生産額0千万円  | 生産額5千万円   |
| 2   | 及び雇用創出数             | 雇用0人     | 雇用5人      |
| 3   | ワインバレー構想による特産品の創出   | 品種選定0種   | 品種選定1品種以上 |
| 4   | 企業連携農園構想による経済効果     | 生産額0億円   | 生産額2億円    |
| 4   | 及び雇用創出数             | 雇用0人     | 雇用 20 人   |

#### 具体的な事業

- ・農産物特産事業 (レタス 100ha 構想・カシス特産化構想・ワインバレー構想)
- ·農業競争力強化基盤整備事業(企業連携農園構想)
- · 農地中間管理事業

#### 4. 特産品開発の推進

#### (1)特産品の開発販路拡大

ルバーブ\*、ジビエ等を中心に、新たな特産品となり得る商品について、観光事業者と協働連携 して特産品開発や販路拡大を進めます。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容          | 現状値  | KPI  |
|-----|-------------|------|------|
| 1   | 商品(加工品)開発件数 | 15 件 | 20 件 |

#### 具体的な事業

•特產品等新商品開発支援事業

# 基本目標 2 **交流**

## ~まちの魅力で新たな人の流れの創出~

#### <基本的方向>

富士見町の大自然と眺望が開けた豊かな自然環境を活かし、富士見パノラマリゾートと富士見 高原リゾートの2大リゾートを中心とする観光産業の充実を図るとともに、魅力を町内外に発信 し、移住定住につなげるための事業を推進します。

#### ■数値目標

| No. | 内容                  | 現状値  | 目標値  |
|-----|---------------------|------|------|
| 1   | プロモーション活動による移住者     | 10 人 | 50 人 |
|     | 生涯活躍のまち(日本版CCRC)*によ | 0人   | 90 人 |
| 2   | る移住者                |      |      |

#### <具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)>

#### 1. 観光資源の活用・発信

#### (1) 地域資源を活用した商品造成等の観光戦略構築

本町の2大観光拠点に対して重点的に環境整備を実施することにより、観光資源の充実を図ります。グリーンシーズンとスノーシーズンの山岳高原ならではの観光資源を活用して、新たな着地型\*、宿泊型商品造成を行います。また、本町の観光情報を充実することにより、外国人観光客に向けた多言語表示を含めたホームページを充実させ、パンフレット類の作成やメディア媒体を使った広告、キャンペーンにより戦略的な宣伝活動を行い、誘客促進を図ります。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                        | 現状値         | KPI         |
|-----|---------------------------|-------------|-------------|
| 1   | 観光地利用者数<br>※県統計(1~12月ベース) | 774, 700 人  | 1,000,000 人 |
| 2   | 学習旅行者数                    | 91,017 人    | 100,000 人   |
| 3   | 町内観光施設等HPアクセス数            | 2,470,000 件 | 2,600,000 件 |

#### 具体的な事業

- 創造の森整備事業
- 入笠地区整備事業
- ・グリーンツーリズム\*推進事業
- ・スポーツツーリズム\*推進事業
- ・ユニバーサルツーリズム\*推進事業
- ・花と心の里山推進事業
- 観光戦略構築事業

#### 2. まちのPR(知名度アップ)

#### (1) 天空リゾート・山岳高原観光を活かした観光情報発信

町観光協会や観光施設によるふじみ観光ネット会議等の連携により、観光情報誌や各種パンフレット、ホームページ等を活用して効果的な宣伝活動を推進します。

また、首都圏域を中心にPRイベントの実施、アンテナショップの有効利用により、町の観光情報発信を展開します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容               | 現状値      | KPI      |
|-----|------------------|----------|----------|
| 1   | プロモーションPRイベント開催数 | 5件       | 7件       |
| 2   | PRパンフレット配布数      | 14,830 件 | 16,000 件 |
|     | わまでおしおくいので、利田本粉  | 9コース     | 11 コース   |
| 3   | おもてなしガイドツアー利用者数  | 1,500人   | 2,000 人  |

- ・ふじみシティプロモーション\*戦略事業 (首都圏アンテナショップ等観光宣伝・情報発信事業) (各種観光振興イベントの企画・開催事業)
- · 観光情報誌 · H P 充実事業
- ・インバウンド\*受入環境整備事業
- 観光協会支援対策事業
- ・おもてなしガイド

#### 3. 移住•定住促進

#### (1)移住・定住プロモーションの実施

移住セミナーや各種イベントに積極的に参加し、本町をPRするとともに移住促進を図ります。 また、空き家実態調査の結果をもとに、活用可能空き家について所有者等の意向調査を行い、移 住希望者へと提供できる体制を整えます。また、宅建協会と協働で行っている空き家バンク\*の有 効活用や、新築住宅補助金の支給等を促進します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| 1 | Vo. | 内容              | 現状値  | KPI  |
|---|-----|-----------------|------|------|
|   | 1   | プロモーション活動による移住者 | 10 人 | 50 人 |
|   | 2   | 空き家の活用可能戸数      | 0戸   | 40 戸 |

#### 具体的な事業

- ・移住・定住促進対策新築住宅補助金事業
- IU\*ターン事業
- 定住促進事業
- ・空き家活用事業

#### (2) デマンド型乗合タクシーの運行

高齢化社会、車社会に伴う買い物難民対策として、デマンド型乗合タクシー\*の利便性を高め、 地域内循環路線を構築します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容    | 現状値       | KPI      |
|-----|-------|-----------|----------|
| 1   | 運行路線数 | 3路線       | 3路線      |
| 2   | 運行日数  | 246 日     | 300 日    |
| 3   | 利用者数  | 22, 915 人 | 25,000 人 |

- ・地域交通システム対策事業
- ・デマンド型乗合タクシー運行拡充事業

#### (3) 生涯活躍のまち(日本版CCRC)の研究

事業実施希望事業者、関係自治体(都市)との調整を行い、移住高齢者の地域共同体づくりを支援 します。

#### ■重要業績評価指標 (KPI)

| No. | 内容                        | 現状値  | KPI  |
|-----|---------------------------|------|------|
| 1   | 生涯活躍のまち(日本版CCRC)<br>設置箇所数 | 0 箇所 | 1 箇所 |

### 具体的な事業

・生涯活躍のまち(日本版CCRC)調整事業

# 基本目標3 子育て

### ~子育て・教育支援の充実~

#### <基本的方向>

本町において、人口減少の一因である自然減に歯止めをかけるため、子育て支援を推進してい く必要があります。

安心して出産・子育てができるよう、経済的支援や環境整備、子ども子育て支援事業を推進するとともに、結婚を希望する男女の出会いの場を創出し結婚へとつなげます。

教育は「つなげよう!学びを、人を、地域を」をテーマに、地域ぐるみで子育てし、地域が元気になる仕組みづくりを目指します。本町の子ども達が地域の人々や自然・文化のよさを肌で感じながら、富士見町で育ち学ぶことへの喜びと誇りを感じて、大人になってもふるさと富士見町を愛し、心を寄せて地域に貢献しようとする人材(人財)となるよう育成します。

#### ■数値目標

| No. | 内容    | 現状値   | 目標値   |
|-----|-------|-------|-------|
| 1   | 年間出生数 | 100 人 | 120 人 |

#### <具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)>

#### 1. 結婚を望む人への支援

#### (1) 結婚支援事業の推進

結婚相談所や諏訪広域連合が主催する婚活イベントと並行し、本町独自の結婚支援により結婚 希望者が結婚できるように支援します。

#### ■重要業績評価指標 (KPI)

| No. | 内容          | 現状値  | KPI  |
|-----|-------------|------|------|
| 1   | 町内に定住する婚姻組数 | 56 組 | 60 組 |

- ・ 婚活イベント事業
- 結婚相談所事業

#### 2. 保育・子育て及び教育支援の充実

#### (1)子育て施策の推進

出産や子育でに対する経済的支援や、環境整備等の少子化対策、精神的にも充実した子育で支援体制を目指し、子ども・子育で支援事業を推進します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                 | 現状値          | KPI           |
|-----|--------------------|--------------|---------------|
| 1   | 相談対応日数             | 3日/週         | 5日/週          |
| 2   | A i A i 参加者数       | 5,900人(延べ人数) | 6,400 人(延べ人数) |
| 3   | 子育て公園・多世代交流公園整備箇所数 | 0 箇所         | 1 箇所          |
| 4   | 放課後児童クラブ登録者数       | 123 人        | 174 人         |

#### 具体的な事業

- 家庭子育て補助金の創設
- 家庭 教育相談事業
- ・母子通園施設事業 (親子すくすく広場)
- ·病児·病後児保育\*事業
- ・子育て支援拠点事業 (A i A i ・つどいの広場)
- ・野外保育補助事業(森のいえ ぽっち)\*
- 放課後児童クラブ事業
- ・子育て環境の整備(子育て公園・多世代交流公園)

#### (2)教育支援の充実

授業にタブレットを導入し、個々が積極的に学習に取り組む体制を整え、学習効果を向上させます。また、英語教育の重要性が高まるなか、他自治体に先駆けて実施している英語学習の時間を増やします。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                     | 現状値      | KPI       |
|-----|------------------------|----------|-----------|
| 1   | ICT 教育(タブレット数)         | 小学校 0台   | 小学校 350 台 |
| •   | I ICI 教育(ダブレット数)       | 中学校 39 台 | 中学校 200 台 |
| 2   | 英語教育の年間学習時間数     17 時間 | 17 吐即    | 35 時間     |
|     |                        | 11 时间    | 99 时间     |

- ・教育の町推進事業(小中学校の英語教育推進)
- ・信州型コミュニティースクール\*の導入
- ・学力向上の取り組み 外部講師による授業改善 中学校補修学習支援
- · 町費職員等人的支援

# <sup>基本目標 4</sup> 福祉・まちづくり

# ~福祉の充実及びまちづくり~

#### <基本的方向>

今後、人口減少や少子高齢化が進むなか、地域による支え合いの活動等がより一層重要となります。また、支えられる高齢者から、まちの担い手として高齢者が活躍できる環境が必要です。

乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージ\*に応じた健康づくりや生活習慣病の予防と介護 予防を推進し、精神的な豊かさや健康的な生活スタイルに対応した生涯学習環境づくりを目指し ます。

#### ■数値目標

| No. | 内容                        | 現状値                                | 目標値                  |
|-----|---------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 1   | 健康寿命*の延伸 (平均寿命と健康寿命の差の縮小) | 男性 1.24 歳<br>女性 2.41 歳<br>(H22 年度) | 男性 1.0 歳<br>女性 2.2 歳 |

<sup>※65</sup>歳時の平均余命(寿命)と「日常生活動作が自立している期間の平均」(介護保険データを活用)の差

#### <具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)>

#### 1. 健康長寿・福祉の推進

#### (1)健康長寿の推進

各種健康診断を推進し、保健・栄養指導を行い、健康寿命の延伸(生活習慣病の発症予防と重症 化予防)を目指します。

#### ■重要業績評価指標 (KPI)

| No. | 内容        | 現状値   | KPI   |
|-----|-----------|-------|-------|
| 1   | 特定健診受診率   | 47.5% | 60.0% |
| 2   | 特定保健指導実施率 | 2.0%  | 60.0% |

- 各種検診検査事業
- ・ がん検診推進事業
- ・長寿医療人間ドッグ補助事業

#### (2)地域福祉の充実

住民同士が日常的に互いに支え合う体制をつくり、非常時にも強いまちとなるよう、地域安心ネットワーク\*体制づくり事業を普及し推進します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                | 現状値   | KPI   |
|-----|-------------------|-------|-------|
| 1   | 避難行動要支援者名簿への掲載同意率 | 51.9% | 70.0% |

#### 具体的な事業

- ・地域支え合い体制づくり事業
- ・福祉のまちづくり事業

#### (3) 高齢者がいきいきと暮らすための活動支援

高齢者の生きがいを高め、健康づくり等を進めるため、新たな支援を行います。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容        | 現状値   | KPI   |
|-----|-----------|-------|-------|
| 1   | 高齢者クラブ団体数 | 19 団体 | 25 団体 |

#### 具体的な事業

- ・高齢者クラブ地域支え合い支援事業
- ・おたっしゃ生きがい生活支援事業
- ・シルバー人材センター事業

#### (4) 新たな介護予防事業への取り組み

健康寿命を延伸させるためには、介護予防事業を強化し、高齢者が要介護認定状態にならないよう対策を講じる必要があります。平成29年度から開始される新たな総合支援事業に対応しながら、介護予防を推進します。

#### ■重要業績評価成果指標(KPI)

| No. | 内容               | 現状値  | KPI   |
|-----|------------------|------|-------|
| 1   | 地区運動教室・サロン開催地区数  | 9 地区 | 14 地区 |
| 2   | 運動スポット整備箇所数      | 0 箇所 | 2箇所   |
| 3   | 元気リーダー養成人数       | 0人   | 223 人 |
| 4   | 住民主体の生活支援・家事援助のサ | 0人   | 50 人  |
|     | ービス実施者           |      |       |

#### 具体的な事業

・地域支援事業の推進(地区運動教室・サロン\*事業、運動スポット\*整備事業、元気リーダー養成 講座、住民主体の生活支援の推進)

#### 2. 生涯学習環境の推進・充実

#### (1) 生涯学習の機会の充実

文化の拠点でもある富士見町コミュニティ・プラザを中心に、町民への生涯学習機会の紹介、継続と維持を図ることを通じて、生きがいづくりや健康増進に寄与します。また、生涯学習、図書館、文化財など、学習機会の広報を公民館報及びHPを通じて発信していくとともに、文化協会等の活動を支援していきます。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容               | 現状値       | KPI      |
|-----|------------------|-----------|----------|
| 1   | 施設利用者数           | 32, 412 人 | 32,000 人 |
| 2   | 公民館報年間頁数 (特集記事増) | 58 ページ    | 72 ページ   |
| 3   | 施設利用登録団体数        | 88 団体     | 90 団体    |

#### 具体的な事業

- · 学習活動事業 · 健康教育推進事業
- ・公民館報の発行(特集・企画記事)・文化振興事業

#### (2) 生涯スポーツの普及・促進

ライフステージに応じた各種生涯スポーツ教室・大会の普及・推進を行います。また、町民の健康・体力増進による健康寿命の延伸のため、運動習慣の定着を地域スポーツクラブ及びスポーツ推進委員との協働で事業展開するとともに、活動団体の支援を行い、年々減少しているスポーツ人口を維持する方策を進めます。

#### ■重要業績評価指標 (KPI)

| No. | 内容            | 現状値             | KPI             |
|-----|---------------|-----------------|-----------------|
| 1   | スポーツ教室・大会の開催数 | 教室 11 件・大会 11 件 | 教室 12 件・大会 11 件 |
| 2   | 施設利用者数        | 139, 381 人      | 139,000 人       |
| 3   | 施設利用登録団体数     | 48 団体           | 55 団体           |

#### 具体的な事業

- ・各種スポーツ大会の開催 ・各種スポーツ教室の開催
- ・スポーツ活動育成事業 ・生涯スポーツ推進事業

# 基本目標 5 **広域連携**

### ~広域連携による地域力の創出~

#### <基本的方向>

今後、町内だけではなく、近隣市町村と連携した広域で事業を行う視点がより重要となります。 NPO諏訪圏ものづくり推進機構\*等との連携に加え、新しい産業や企業誘致を進めるための情報提供を行い、地域経済の発展を進めます。また、広域的な取り組みによる着地型観光の推進、広域連携による移住定住の促進、定住自立圏の取り組みを展開します。

#### ■数値目標

| No. | 内容          | 現状値  | 目標値   |
|-----|-------------|------|-------|
| 1   | 定住人口の増 (再掲) | 50 人 | 500 人 |

#### <具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)>

#### 1. 広域連携による事業の推進

#### (1) 広域・産学官の連携支援による圏域産業強化

NPO諏訪圏ものづくり推進機構、大学、産業支援機関等と連携した広域的な事業により、地域内の高度な技術力のPRや地域資源の活用による企業の活性化を目指すとともに、諏訪地域の地域産業のブランド化を実現し、人材育成と地域産業の発展を促進します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                           | 現状値   | KPI   |
|-----|------------------------------|-------|-------|
| 1   | 諏訪圏工業メッセ新規商談成立件数<br>(6市町村合計) | 261 件 | 300 件 |
| 2   | 人材育成関連事業への参加者<br>(6市町村合計)    | 0人    | 200 人 |

#### 具体的な事業

- ・NPO諏訪圏ものづくり推進機構等支援事業
- ・諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業

#### (2) 広域連携による観光産業の環境整備

ブランド観光圏\*の認定を活かし、観光圏エリアの事業者、行政が連携して八ヶ岳ならではの宿 泊滞在プログラムを企画提供することにより、圏域内の誘客、滞在時間の増加を目指します。ま た、諏訪地方観光連盟、八ヶ岳観光圏\*などと連携してキャンペーンやインバウンド事業を行い観 光客を増やします。

#### ■重要業績評価指標 (KPI)

| No. | 内容               | 現状値     | KPI     |
|-----|------------------|---------|---------|
| 1   | 外国人宿泊者数          | 320 人   | 730 人   |
|     | 二次交通(鉢巻周遊リゾートバス) | 45 日    | 65 日    |
| 2   | 一次交通(鉢を向近りノートハム) | 1,630 人 | 2,000 人 |
| 3   | 旅行商品造成商談会        | 3回      | 5 回     |

#### 具体的な事業

- ・諏訪地方観光連盟との連携事業
- ・観光ネットワーク形成・商品造成連携事業
- · DMO\*組織運営支援事業
- ・観光資源活用による宿泊滞在プログラム企画事業
- · 外国人受入環境整備事業
- 観光地二次交通対策事業
- ・八ヶ岳観光圏整備事業

#### (3) 南アルプスの自然環境の保全と活用の推進

南アルプスユネスコエコパーク\*登録の移行地域、日本ジオパーク\*認定地域として、自然と人と が共生するエリアを形成する観光資源の掘り起こし、環境整備、コース設定を行います。

また、後世へ伝えられる遺産となるよう、特異な地形・地質の保全や、貴重な動植物の保護に取り組みます。

ユネスコエコパーク登録、日本ジオパーク認定を誘客の強みとしてアピールし、商品造成に取り組みます。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容      | 現状値              | KPI             |
|-----|---------|------------------|-----------------|
| 1   | 観光地利用者数 | 392, 200 人(延べ人数) | 403,900 人(延べ人数) |

#### 具体的な事業

- ・南アルプスユネスコエコパーク連携事業・入笠山マイカー規制事業
- ・南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク\*連携事業
- ・エコ・ジオパークエリアの環境・施設整備事業

#### (4) 広域連携による移住・定住の促進

諏訪地域各市町村や長野県等が連携して設置を予定している「(仮称) 楽園信州移住相談センター諏訪支部」の推進により、移住希望者等の住まい・暮らし・仕事等、多岐にわたる相談にきめ細かく対応し、移住・定住者の増加を促進します。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容                | 現状値 | KPI |
|-----|-------------------|-----|-----|
| 1   | 相談センター経由による移住定住者数 | 0件  | 4件  |

#### 具体的な事業

・(仮称) 楽園信州移住相談センター諏訪支部支援事業

#### (5) 八ヶ岳定住自立圏による関係自治体との連携推進

山梨県北杜市及び原村とともに八ヶ岳定住自立圏を形成し、構成自治体と連携しながら各政策 分野に取り組みます。

#### ■重要業績評価指標(KPI)

| No. | 内容     | 現状値 | KPI  |
|-----|--------|-----|------|
| 1   | 事業取組比率 | _   | 100% |

#### 具体的な事業

・八ヶ岳定住自立圏構想\*の取り組み

# 第3編 資料編

※本文中の\*印を付した用語は、巻末に用語解説を掲載しています。

# 第1章 数値目標・KPI一覧

# 1 雇用

### (1)基本目標

| No. | 内容      | 現状値  | 目標値   | 目標値の位置づけ |
|-----|---------|------|-------|----------|
| 1   | 定住人口の増加 | 50 人 | 500 人 | 純増目標     |

| No. | 内容                 | 現状値      | KPI     | KPIの位置づけ  |
|-----|--------------------|----------|---------|-----------|
| 1   | テレワークによる新規移住者数     | 10 人     | 150 人   | 純増目標      |
| 2   | 新規農業従事者数           | 34 人     | 59 人    | 到達目標      |
| 3   | 農業法人誘致数及び          | 5社       | 10 社    | 到達目標      |
| 3   | 誘致法人の雇用創出数         | 20 人     | 45 人    | 到達目標      |
| 4   | 新卒就農者数             | 0人       | 5人      | 純増目標      |
| 5   | 企業立地・規模拡大・創業社数     | 2件       | 4件      | 到達目標      |
| 6   | 専業農家所得向上率          | 100%     | 105%    | 到達目標      |
| 7   | 定年帰農者(高年齢者)数       | 0人       | 25 人    | 純増目標      |
| 8   | パート就農者(子育て者等)数     | 0人       | 25 人    | 純増目標      |
| 9   | 産業展示会出展企業数         | 26 社     | 30 社    | 到達目標      |
| 10  | 中小企業融資斡旋数          | 412 件    | 430 件   | 到達目標      |
| 11  | レタス 100ha 構想による経済効 | 生産額1.5億円 | 生産額6億円  | 到達目標      |
|     | 果及び雇用創出数           | 雇用 15 人  | 雇用 60 人 | 到達目標      |
| 12  | カシス特産化構想による経済効     | 生産額0千万円  | 生産額5千万円 | 純増目標      |
| 12  | 果及び雇用創出数           | 雇用0人     | 雇用5人    | 純増目標      |
| 13  | ワインバレー構想による特産品     | 品種選定 0 種 | 品種選定1品種 | 純増目標      |
| 10  | の創出                | 加進迭たり進   | 以上      | PT-F目口1示  |
| 14  | 企業連携農園構想による経済効     | 生産額0億円   | 生産額2億円  | 純増目標      |
| 14  | 果及び雇用創出数           | 雇用0人     | 雇用 20 人 | /忙七日 口 1示 |
| 15  | 商品(加工品)開発件数        | 15 件     | 20 件    | 到達目標      |

# 2 交流

# (1)基本目標

| No. | 内容                         | 現状値  | 目標値  | 目標値の位置づけ |
|-----|----------------------------|------|------|----------|
| 1   | プロモーション活動による移住者            | 10 人 | 50 人 | 純増目標     |
| 2   | 生涯活躍のまち(日本版CCR<br>C)による移住者 | 0人   | 90 人 | 純増目標     |

| No. | 内容                         | 現状値         | KPI         | KPIの位置づけ |
|-----|----------------------------|-------------|-------------|----------|
| 1   | 観光地利用者数<br>※県統計 (1~12月ベース) | 774, 700 人  | 1,000,000 人 | 到達目標     |
| 2   | 学習旅行者数                     | 91,017 人    | 100,000 人   | 到達目標     |
| 3   | 町内観光施設等HPアクセス数             | 2,470,000 件 | 2,600,000 件 | 到達目標     |
| 4   | プロモーションPRイベント開催数           | 5件          | 7件          | 到達目標     |
| 5   | PRパンフレット配布数                | 14,830件     | 16,000件     | 到達目標     |
| 6   | おもてなしガイドツアー利用者数            | 9 コース       | 11 コース      | 到達目標     |
| 0   |                            | 1,500人      | 2,000 人     | 到達目標     |
| 7   | プロモーション活動による移住者            | 10 人        | 50 人        | 純増目標     |
| 8   | 空き家の活用可能戸数                 | 0戸          | 40 戸        | 純増目標     |
| 9   | 運行路線数                      | 3路線         | 3路線         | 到達目標     |
| 10  | 運行日数                       | 246 日       | 300 日       | 到達目標     |
| 11  | 利用者数                       | 22,915 人    | 25,000 人    | 到達目標     |
| 12  | 生涯活躍のまち(日本版CCR<br>C)設置箇所数  | 0箇所         | 1 箇所        | 純増目標     |

# 3 子育て

### (1)基本目標

| No. | 内容    | 現状値   | 目標値   | 目標値の位置づけ |
|-----|-------|-------|-------|----------|
| 1   | 年間出生数 | 100 人 | 120 人 | 到達目標     |

### (2) KPI

| No. | 内容                       | 現状値               | KPI                    | K P I の位置づけ  |
|-----|--------------------------|-------------------|------------------------|--------------|
| 1   | 町内に定住する婚姻組数              | 56 組              | 60 組                   | 到達目標         |
| 2   | 相談対応日数                   | 3日/週              | 5日/週                   | 到達目標         |
| 3   | A i A i 参加者数             | 5,900 人<br>(延べ人数) | 6,400 人<br>(延べ人数)      | 到達目標         |
| 4   | 子育て公園・多世代交流公園<br>整備箇所数   | 0 箇所 1 箇所 1       |                        | 純増目標         |
| 5   | 放課後児童クラブ登録者数             | 123 人             | 174 人                  | 到達目標         |
| 6   | ICT教育(タブレット数)            | 小学校 0台<br>中学校 39台 | 小学校 350 台<br>中学校 200 台 | 純増目標<br>到達目標 |
| 7   | 英語教育の年間学習時間数<br>(小1~4年生) | 17 時間             | 35 時間                  | 到達目標         |

# 4 福祉・まちづくり

# (1)基本目標

| No. | 内容             |           | 目標値の位置づけ |      |
|-----|----------------|-----------|----------|------|
|     | 健康寿命の延伸        | 男性 1.24 歳 | 男性 1.0歳  |      |
| 1   | (平均寿命と健康寿命の差の縮 | 女性 2.41 歳 | 女性 2.2 歳 | 到達目標 |
|     | 小)             | (H22 年度)  |          |      |

| No. | 内容                    | 現状値   | KPI   | KPIの位置づけ |
|-----|-----------------------|-------|-------|----------|
| 1   | 特定健診受診率               | 47.5% | 60.0% | 到達目標     |
| 2   | 特定保健指導実施率             | 2.0%  | 60.0% | 到達目標     |
| 3   | 避難行動要支援者名簿への掲載<br>同意率 | 51.9% | 70.0% | 到達目標     |

| No. | 内容              | 現状値           | KPI       | KPIの位置づけ      |  |
|-----|-----------------|---------------|-----------|---------------|--|
| 4   | 高齢者クラブ団体数       | 19 団体         | 25 団体     | 到達目標          |  |
| 5   | 地区運動教室・サロン開催地区数 | 9 地区          | 14 地区     | 到達目標          |  |
| 6   | 運動スポット整備箇所数     | 0 箇所          | 2箇所       | 純増目標          |  |
| 7   | 元気リーダー養成人数      | 0人            | 223 人     | 純増目標          |  |
| 8   | 住民主体の生活支援・家事援助の | E体の生活支援・家事援助の |           | <b>紅</b> 田 押  |  |
| 0   | サービス実施者         | 0人            | 50 人      | 純増目標          |  |
| 9   | 施設利用者数          | 32,412 人      | 32,000 人  | 到達目標          |  |
| 10  | 公民館報年間頁数(特集記事増) | 58 ページ        | 72 ページ    | 到達目標          |  |
| 11  | 施設利用登録団体数       | 88 団体         | 90 団体     | 到達目標          |  |
| 12  | スポーツ教室・大会の開催数   | 教室 11 件       | 教室 12 件   | 到達目標          |  |
| 12  | スポーク教主・八云の 用惟剱  | 大会 11 件       | 大会 11 件   | 到 <b>建</b> 日保 |  |
| 13  | 施設利用者数          | 139, 381 人    | 139,000 人 | 到達目標          |  |
| 14  | 施設利用登録団体数       | 48 団体         | 55 団体     | 到達目標          |  |

# 5 広域連携

# (1)基本目標

| No. | 内容         | 現状値  | 目標値   | 目標値の位置づけ |
|-----|------------|------|-------|----------|
| 1   | 定住人口の増(再掲) | 50 人 | 500 人 | 純増目標     |

| No. | 内容             | 現状値              | KPI        | K P I の位置づけ   |  |
|-----|----------------|------------------|------------|---------------|--|
| 1   | 諏訪圏工業メッセ新規商談成立 | 261 件            | 300 件      | 到達目標          |  |
| '   | 件数(6市町村合計)     | 201              | 300 FF     | 判定口标          |  |
| 2   | 人材育成関連事業への参加者  | 0人               | 200 人      | 純増目標          |  |
| 2   | (6市町村合計)       | 0人               | 200 /      |               |  |
| 3   | 外国人宿泊数         | 320 人            | 730 人      | 到達目標          |  |
| 4   | 二次交通(鉢巻周遊リゾートバ | 45 日             | 65 日       | 到達目標          |  |
| 4   | ス)             | 1,630人           | 2,000 人    | 到 <b>建</b> 日保 |  |
| 5   | 旅行商品造成商談会      | 3回               | 5回         | 到達目標          |  |
| 6   | <br>  観光地利用者   | 392, 200 人       | 403, 900 人 | 到達目標          |  |
| O   | 観兀地利用名 <br>    | (延べ人数)           | (延べ人数)     | 判廷口憬          |  |
| 7   | 相談センター経由による移住定 | 0件               | 4件         | 純増目標          |  |
|     | 住者数            | U T <del>T</del> | 4 17       | 池垣口际          |  |
| 8   | 事業取組比率         |                  | 100%       | 到達目標          |  |

# 第2章 富士見町まち・ひと・しごと創生本部

### 1 設置要綱

○富士見町まち・ひと・しごと創生本部設置要綱

平成 27 年 7 月 10 日 告示第 50 号

(設置)

第1条 本町における人口減少、少子高齢化という大きな課題に対応し、本町の特徴を活かした 自立的で持続可能な社会を創生するため、富士見町まち・ひと・しごと創生本部(以下「本部」 という。)を設置する。

(所掌事務)

- 第2条 本部の所掌事務は、次のとおりとする。
  - (1) 富士見町版総合戦略の策定及び進行管理に関すること。
  - (2) 富士見町人口ビジョンの策定に関すること。
  - (3) 前2号の所掌事務に係る情報共有及び連絡調整に関すること。
  - (4) その他前条の目的達成のため必要な事項に関すること。

(組織)

- 第3条 本部は、本部長、副本部長、本部員をもって組織する。
- 2 本部長は町長をもって充て、副本部長は副町長及び教育長をもって充てる。
- 3 本部員は、課長職から町長が任命する。

(職務)

- 第4条 本部長は、本部を総括する。
- 2 副本部長は本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 本部員は、本部長の命を受けて、所掌事務を処理する。

(会議)

- 第5条 本部の会議は、本部長が招集し、その会議の議長となる。
- 2 本部長は、必要があると認めるときは、本部員以外の者の出席を求め、必要な説明又は意見を聞くことができる。

(有識者会議)

- 第6条 本部長は、富士見町版総合戦略及び富士見町人口ビジョンの策定に当たり、本部への助 言及び意見交換を行うための有識者会議を設置する。
- 2 有識者会議は、次に掲げる事項について審議する。
  - (1) 人口ビジョン及び総合戦略の策定に関する事項
  - (2) 総合戦略の推進及び効果の検証に関する事項
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、まち・ひと・しごと創生の推進に当たり必要な事項

- 3 有識者会議は、住民代表並びに産業界、行政機関、教育機関、金融機関及び労働団体等の有識者をもって構成する。
- 4 有識者会議の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 5 有識者会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 6 有識者会議の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。 (庶務)
- 第7条 本部及び有識者会議の庶務は、総務課において処理する。 (補則)
- 第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は町長が別に定める。 附 則 この要綱は、公布の日から施行する。

# 2 有識者会議 委員名簿

(敬称略、順不同)

| 分野 | 団体名                      | 氏                 | 名  | (明文4万曜日、 | 備考         |
|----|--------------------------|-------------------|----|----------|------------|
| 刀虾 | 凹体石                      | 戊                 | 在  |          | 1佣-6       |
|    | 富士見町社会福祉協議会              | 会長                | 森山 | 誠        | 会長         |
|    | 神代棚田復活プロジェクト             | 代表                | ЖН | цуу      | <b>A</b> A |
| 住民 | NPOふじみ子育てネットワ<br>ーク      | 代表                | 松下 | 妙子       |            |
|    | 富士見町IT推進協会               | 理事                | 雨宮 | 伊織       |            |
|    | 富士見町商工会                  | 会長                | 名取 | 元秀       |            |
| 産  | 富士見町観光協会                 | 会長                | 窪田 | 福美       |            |
| 注  | 信州諏訪農業協同組合               | 理事                | 樋口 | 市衛       | 副会長        |
|    | 富士見町農業委員会                | 会長                | 五味 | 紘一       |            |
| 官  | 諏訪地方事務所                  | 地域政策課長            | 塩原 | 一正       |            |
| 学  | 富士見高等学校                  | 校長                | 保坂 | 美代子      |            |
| 子  | 諏訪東京理科大学<br>経営情報学部経営情報学科 | 准教授               | 平尾 | 毅        |            |
| 金  | 八十二銀行                    | 富士見支店長            | 小山 | 千明       |            |
|    | 諏訪信用金庫                   | 富士見支店・<br>富士見東支店長 | 樋口 | 岡川       |            |
| 労  | アルピコ労働組合諏訪バス支部           | 運営委員長             | 濱  | 文智       |            |
| 言  | 株式会社長野日報社                | 代表取締役社長           | 佐久 | 秀幸       |            |

# 第3章 用語解説

|    | 用語                      | 解 説   |
|----|-------------------------|---|
|    | I Uターン                  | 主には就職や転職で使われる用語。「Iターン就職」は、出身地に関係なく地方(各地域)企業への就職することを言い、「Uターン就職」とは進学で上京し、出身地を離れた学生が「地元に帰って就職」することをいう。  |
|    | 空き家バンク                  | 町へ移住・定住を希望される方へ、長野県宅地建物取引業協会諏訪支部富<br>士見分会と富士見町が協働で空き家物件を紹介するもの。   |
| あ行 | インバウンド                  | インバウンドとは、外から入ってくる旅行、一般的に訪日外国人旅行を指す。 海外旅行はアウトバウンドという。 日本ではアウトバウンドに比べ、インバウンドの数が著しく少ないことから、2003 年に政府は「外国人旅行者訪日促進戦略」を掲げ、現在は「訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業)」が行われている。                          |
|    | 運動スポット                  | 元気な高齢者を対象とした、気軽に運動をすることができる場所。運動機器の設置と運動指導員を配置し、対話スペースも併設することにより、高齢者の健康増進、健康寿命の延伸に寄与することを目的とする。   |
|    | NPO諏訪圏も<br>のづくり推進機<br>構 | 多様で高度な技術を有する中小企業が集積する諏訪地域。この産業集積のポテンシャルを活かしながら、さらに高い付加価値を持つビジネス・産業・ものづくり・技術・サービスなどを実現していこうとする広域的・横断的なものづくり拠点。   |
|    | グリーンツーリ<br>ズム           | 農山漁村地域において自然・文化、農林漁業とのふれ合いや体験、人々と<br>の交流を楽しむ滞在型の旅行形態。   |
| か行 | KPI(重要事<br>業評価指標)       | 目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと。目標に向かって日々業務を<br>進めていくにあたり、「何を持って進捗とするのか」を定義するために設<br>定される尺度で、現況を指し示す様々な指標の中から、進捗を表現するの<br>に最も適していると思われるものが選択される。KPIは継続的に測定・<br>監視され、その向上のために日々の活動の改善が行われる。 |
|    | 健康寿命                    | 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。国の健康づくり計画である「健康日本21(第2次)」の中心課題となっている。「健康寿命の延伸」の目標とするところは、「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」とされている。  |

|        | 用語                       | 解 説   |
|--------|--------------------------|---|
|        | サロン                      | 高齢者の「居場所」のひとつ。一人暮らしや、高齢者のみの世帯が増加するなか、地域とのつながり、お互いの支え合いのための場所。高齢者の孤立や引きこもりを防ぎ、生きがいづくりにつながることを目的とする。  |
|        | シェアオフィス                  | 複数の利用者が同じスペースを共有するオフィス。   |
|        | 生涯活躍のまち<br>(日本版CCR<br>C) | 東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指すもの。   |
| さ<br>行 | 新規就農パッケ<br>ージ制度          | 農業技術を教える「指導者」、生活の拠点「住居」、生産の拠点「農地・<br>機械」を1つのパッケージにして新規就農者へ提供する、富士見町独自の<br>就農支援制度。   |
|        | 信州型コミュニティースクール           | 地域の方々のご協力で、学校や保育園を支えていただき地域ぐるみで子どもたちを育てる事業。(学校の授業や教育活動、保育園事業に地域の支援ボランティアが積極的に参加していただく仕組み。)具体的には、学校や保育園行事、読み聞かせや登下校の見守り、授業の補助など学習支援、樹木の剪定、花壇作りなど環境整備等。 |
|        | スポーツツーリズム                | 観光庁が「観光立国戦略」の一環として示したスポーツツーリズム推進基本方針により、イベント開催、合宿招致、プロスポーツ誘致などスポーツを通じて観光と融合させることにより新しい旅行の魅力を創り出し、スポーツ振興、健康増進、観光産業の振興により、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す旅行形態。 |
|        | 地域安心ネットワーク               | 「普段からの地域における、お互いの支え合い」から始まる「安全・安心な地域づくり」。特に、災害等非常時の地域力を高めるため「要援護者名簿(災害弱者)・地図」を整備し、区・集落組合、行政、関係機関が情報共有することで、災害時にも強いまちづくりを目指す。「支え合いマップづくり」も本事業の一環。      |
| た      | 着地型観光                    | 観光客の受け入れ先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地<br>集合、現地解散する新しい観光の形態。   |
| 行      | DMO                      | 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。          |
|        | デマンド型乗合タクシー              | 自宅や指定の場所から目的地(戸口から戸口)まで、お客様の希望時間帯、<br>乗車場所などの要望(デマンド)に、バス並みの安価な料金で応える公共<br>交通サービスのこと。富士見町では「すずらん号」の運行を行っている。  |

|    | 用語       | 解 説                                      |
|----|----------|--|
| た  | テレロ、カ    | 勤労形態の一種で、情報通信機器等を活用し時間や場所の制約を受けずに、       |
| 行  | テレワーク    | 柔軟に働くことができる形態をいう。                        |
|    |          | 2008年12月、南アルプスの長野県側が南アルプス(中央構造線エリア)ジ     |
|    |          | オパークとして日本ジオパークに認定。引続き、山梨県側と静岡県側の認        |
|    |          | 定を目指している。(2014年12月現在、日本ジオパーク認定36地域、世     |
|    |          | 界ジオパーク国内認定7地域)                           |
|    | 日本ジオパーク  | ジオパークは、ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズム         |
|    | (南アルプスジ  | を楽しむなど自然に親しむための公園であり、日本ジオパーク委員会では        |
| な  | オパーク)    | 「大地の公園」という言葉を使っている。海抜 3,000m級の高山を 10 座有  |
| 行  |          | する日本を代表する山岳地域になっており、中生代から現在までの海洋プ        |
| 11 |          | レート沈み込み帯で起こったいろいろな現象を狭い地域で集中して見るこ        |
|    |          | とができるエリア。地球科学的に見て重要な特徴を複数有するだけでなく、       |
|    |          | 自然遺産や文化遺産を有する地域を有機的に結びつけて、保全や教育、ツ        |
|    |          | ーリズムに利用しながら地域の持続的な経済発展を目指している。           |
|    | 農地中間管理事業 | 地域・所有者・耕作者との話し合いを通じて農地の利用調整を行いながら        |
|    |          | 担い手に農地を集積して、農地利用の効率化を図り、生産性を向上させる        |
|    |          | 事業。                                      |
|    | PDCAサイク  | Plan (計画) →Do (実行) → Check (評価) → Action |
|    | ル        | (改善)の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。       |
|    | 病児・病後児保  | 病気又は病気回復期にある生後6か月から小学校3年生までのお子さん         |
|    | 育        | を、保育ができない期間、一時的に富士見高原病院で預かる制度。           |
|    | H        | 2、水自2、CG2、利用、 时几C用工况间从内顶 CDX 3 间及。       |
|    |          | 「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」(観        |
| は  |          | 光圏整備法)に基づき、「観光圏」の形成を支援し、国際競争力の高い魅        |
| 行  |          | 力ある観光地域づくりを目指す地域。自然・歴史・文化等において密接な        |
|    | ブランド観光圏  | 関係のある観光地を一体とした区域であって、区域内の関係者が連携し、        |
|    |          | 地域の幅広い観光資源を活用して、観光客が滞在・周遊できる魅力ある観        |
|    |          | 光地域づくりを促進するもの。平成 28 年 1 月現在、八ヶ岳観光圏を含め全   |
|    |          | 国 13 地域が観光庁からブランド観光圏として認定されている。          |
|    |          | テレワークの働く場所による分類の1つで自宅利用型をいう。自宅に居な        |
|    | ホームオフィス  | がら、パソコンとインターネット等の通信を使用して仕事を行うことがで        |
|    |          | きる。                                      |

|    | 用語                 | 解 説   |
|----|--------------------|---|
| ま行 | 南アルプスユネ<br>スコエコパーク | 2014年6月12日第26回MAB国際調整理事会において、南アルプスユネスコエコパークが正式に登録承認された。<br>従来、南アルプスの山々によって交流が阻まれてきた3県10市町村にわたる地域が、「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」という理念のもと、南アルプスの自然環境と文化を共有の財産と位置づけるとともに、優れた自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用に共同で取り組むことを通じて、地域間交流を拡大し自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを図ることを目指している。   |
|    | 野外保育(森のいえ ぽっち)     | 豊かな自然の中で様々な体験活動を通じて「子どもの育ち方が一人ひとり<br>多様である」ことを大人が理解し、「子どもが本来持っている自ら学び成<br>長しようとする力」が十分に育まれることを重視する自然保育。大人が干<br>渉しすぎず、自然の中で思う存分活動することで、たくましく成長する。  |
| や行 | 八ヶ岳観光圏             | 山梨県北杜市、長野県富士見町・原村の1市1町1村からなる県を跨いだ<br>エリアで構成し、官民の連携により、観光圏全体でブランド観光地域づく<br>りに向けた観光資源、滞在プログラムの魅力向上事業や観光客誘客事業を<br>推進している。平成25年4月からは、観光圏のプラットフォームである(一<br>社)八ヶ岳ツーリズムマネジメントにより、観光地域づくりブランド確立<br>支援事業に取組み、地域づくりマネジャーを中心に「住んでよし、訪れて<br>よし」の観光地域づくりを推進している。   |
|    | 八ヶ岳定住自立<br>圏構想     | 地方から東京など大都市圏への人口流出を抑制するため総務省が推進する施策。平成20年(2008)に「定住自立圏構想推進要綱」を公表。人口5万人程度以上で昼間人口が多い(昼夜間人口比率が1以上)都市が「中心市」となり、生活・経済面で関わりの深い「周辺市町村」と協定を締結し、定住自立圏を形成。中心市が策定する定住自立圏共生ビジョンに沿って、地域全体で医療・福祉・教育など生活機能の強化、交通・ICTインフラの整備や地域内外の住民の交流、人材育成など人口定住に必要な生活機能の確保に取り組む。<br>富士見町は、平成27年7月1日に北杜市を中心市として原村と3市町村で人ヶ岳定住自立圏を締結。 |
|    | ユニバーサルツ<br>ーリズム    | 物理的なバリアフリー環境の整備にとらわれず、高齢者や障がい者などハンディキャップがあっても人の手とアイデア、福祉器具の利活用により楽しめる旅行や時間を提供できる環境を整えることにより、誰もが楽しむことができる旅行形態を提供する。  |

|    | 用語      | 解 説  |
|----|---------|--|
| ら行 | ライフステージ | 人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれ<br>ぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦 |
|    |         | 期などに分けられる。   |
|    | ルバーブ    | タデ科の多年草。シベリア南部原産で、古くからギリシア、ローマで栽培                                      |
|    |         | され、ヨーロッパではポピュラーで薬用や食用として栽培されている。 日                                     |
|    |         | 本へは明治初期に導入されたが強い酸味と渋味があり一般的には食べられ                                      |
|    |         | なかった。  |
|    |         | 富士見町は、標高が高く冷涼であることから、茎全体が真っ赤になること                                      |
|    |         | から、真っ赤な色を生かした特産品開発や販路拡大を進めている。   |